

新滑空場紹介

大野グライダー滑空場 OPEN

簡単に大野グライダー滑空場を紹介します。

- (所在地) 岐阜県揖斐郡大野町公郷地先
揖斐川左岸河川敷
- (滑走路) 長さ1,300m×幅70～100m
- (滑走路方位) 32-14

揖斐川河口から52km内陸に位置し、北側約3kmに山地が迫っており、西側には池田山山系が5km付近から広がっています。

内陸部に位置すること、山地に近いことから熱上昇風、コンバージェンス、斜面の合成風などの利用が期待できます。まだ飛行実績がありませんが、滑空場の持つポテンシャルは高いと感じています。名古屋空港、航空自衛隊岐阜基地からも距離があるため、滑空場北側は最高6,000フィートまで練習空域が確保されています。

大野グライダー滑空場は大野町の公園施設で、東海・関西支部運営委員会の組織である大野滑空場管理運営委員会が実質管理と運営を行うことになっています。両支部の加盟校とOBの大野グライダークラブが協力して維持運営を行う体制の整備はこれからです。

滑空場のポテンシャルを生かせば、競技会の開催やクロスカントリーなど可能性が大きく広がります。木曽川滑空場との行き来はVHF無線機を搭載すれば簡単に実現できるでしょう。岐阜基地、飛騨エアーパークと繋がれば、長野、関東方面まで飛べる日が来るかも知れません。学生とOBが共生できる滑空場として、また他の滑空団体も利用できる滑空場を目指して皆で確実に育てて行きたいと思います。

(学連「方向舵」112号より抜粋転載)

